

JFW インターナショナル・ファッション・フェア閉幕 3日間で2万6500人が来場

織研新聞社が主催するファッション総合見本市「JFW インターナショナル・ファッション・フェア(JFW - IFF)」が、15日に3日間の会期を終え、閉幕しました。日本を含めた15カ国から756社(1122小間)が出展し、前回並みとなった開催規模のJFW - IFFには、トータルで前回展比300人増の26,482人の来場者がありました。

来場者の内訳は下記のとおりです。

入場者の内訳	2010年1月13～15日			
	国内	海外	合計	構成比
セレクトショップ	4414	57	4471	16.9%
専門店	4478	39	4517	17.1%
百貨店	1241	16	1257	4.7%
量販店	534	3	537	2.0%
無店舗販売	758	20	778	2.9%
小売合計	11425	135	11560	43.7%
アパレルメーカー	4220	69	4289	16.2%
卸売業	4942	38	4980	18.8%
商社・輸入代理店	2754	116	2870	10.8%
報道関係	405	11	416	1.6%
その他	2291	76	2367	8.9%
ほか合計	14612	310	14922	56.3%
合計	26037	445	26482	100.0%

マリんにミリタリー、春夏最新トレンドに集まった注目！

景気低迷下で来場者が若干ながら増加したのは、小売店バイヤーが増加したためです。昨年買い控えた小売店のバイヤーが売り上げを伸ばそうと新味のある商品を求めてJFW - IFFに来場したものと、主催者としては分析しています。セレクトショップバイヤーは前回7月展より300人強、百貨店バイヤーも160人来場が増えました。

展示会場で人気を集めたのは、レディスではマリントーストやミリタリーといった定番のトレンド要素にひねりを加えたファッションであり、メンズでは不良っぽさの強いバイカースタイルなどでした。「売れる商品を確実に仕入れたい」バイヤーに応えようと、出展者も展示ブースの造作に工夫を凝らし、来場者へのアピールに力を入れていました。

また、今回のJFW - IFFでは、テレビ通販によるライブ実況や業界セミナー、JFW 新人デザイナーファッション大賞入賞者と出展企業のコラボ企画など、盛りだくさんのイベントを実施しました。業界の発展に役立つさまざまな仕掛けが会場の熱気を後押ししたものと主催者としては自負しております。



次回JFW - IFFは、7月21日から東京ビッグサイトで

次回JFW-IFFは、7月21日(水)~23日(金)まで、東京ビッグサイト西展示場で開催いたします。「出展案内」は2月中旬、「来場事前登録」は4月より、弊社Webサイトにて公開いたします。

今後とも織研新聞社は、日本のファッション業界の活性化と、グローバル市場への架け橋となることを目指し、JFW - IFFの内容の一層の充実を図っていく考えです。業界関係者の皆様には、引き続きのご指導、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

織研新聞社 JFW-IFF 事務局
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 31-4
担当：柏木・植田
<http://www.senken-ex.com>
E-mail:iff-10@senken.co.jp

報道関係者の皆様には、今後ともJFW-IFFへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

